

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。



## 台風3号後に梅雨明けか？ 渇水に備える栽培管理と白未熟粒対策

今年は、降水量が少なく水不足の深刻化が心配されます。安濃ダムの有効貯留率は、16.7%（7月3日現在）と低くなっている状況です。このまま梅雨明けをしてしまうと稲に必要な水が行き渡らなくなってしまいます。このため、万が一の用水不足に備え貴重な水を有効に使いましょう。

**津気象台4月～6月の降水量**  
平成29年 338mm  
平年 505.5mm  
**△167.5mmも少ない！！**

**用水の生育ステージ別 必要度** ★★★ 最も必要 ★★ 必要 ★ あまり必要ではない

生育ステージ	稲の生育	用水の必要度	用水不足の影響
活着期	田植え～10日頃	★★★	活着不良・除草剤の効果低減
有効分けつ期	活着～田植え後35日頃	★★	分けつ不足・除草剤の効果低減
無効分けつ期	田植え後35日～幼穂形成期（中干し期）	★	※ 最も乾燥に強い時期
幼穂形成期	出穂前25日～15日頃	★★★	一穂粒数の減少
穂ばらみ期	出穂前15日～出穂始め	★★★	花粉の形成阻害
出穂開花期	出穂始め～穂揃い期	★★★	開花・受精阻害による不稔
登熟前期	出穂後20日頃	★★	籾の充実不良（長さ、幅、厚みの低下）
登熟後期	出穂後20日～成熟期前7日頃	★	デンプンの充実不良（白未熟粒の発生）

### 渇水に備える栽培管理

溝切りから始めるこまめな水管理！！

- ・溝きりをしておけば、圃場全体に効率よく用水が行き届きます。

圃場点検・漏水防止！！

- ・漏水箇所を点検し、畦畔のモグラ穴などを埋めて漏水防止に努めましょう。



### 出穂期頃の追肥（耐暑肥）が有効！稲の栄養不足解消！

～出穂後20日間の平均気温27℃以上で背白粒・基部未熟粒が増加、

出穂後20日間の平均気温28.5℃を超えるとさらに増える～

出穂期の葉色が薄い場合（カラスケール4未満）稲の栄養不足で白未熟粒が増えます。

そこで、出穂期に追肥（耐暑肥）を施肥して白未熟粒の発生を抑えましょう。

昔から出穂期に追肥すれば、玄米タンパク質含有量が高くなり食味が下がると言われますが、窒素量1kg/10aの施肥量であれば食味を下げずに白未熟粒軽減対策になります。

NK4号を20kg施肥される場合は、面積30aを目安にしてください。

**一発肥料を  
使用している方も  
葉色を見てから判断！！**